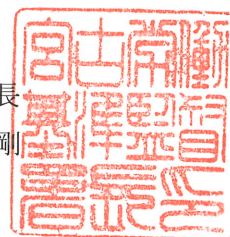




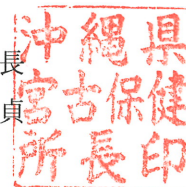
沖宮署発 0615 第 1 号
宮保第 6 7 9 号
宮生健第 2 5 7 号
多住福第 7 1 1 号
平成 2 7 年 6 月 1 5 日

宮古新報株式会社
代表取締役社長
座喜味 弘二 殿

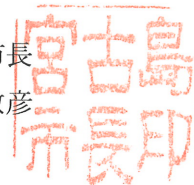
宮古労働基準監督署長
嘉数 剛



沖縄県宮古保健所長
山川 宗貞



宮古島市長
下地 敏彦



多良間村長
伊良皆 光夫



健康づくりに関する啓発活動への協力依頼

保健事業については、平素から格別の御配慮をいただき厚くお礼申し上げます。

沖縄県は、平成 25 年に公表された平成 22 年の都道府県別生命表において、女性が前回の 1 位から 3 位へ、男性が 25 位から 30 位に順位を下げる結果となっております。男性は平成 14 年以降、全国平均を下回る状況が続いていますが、女性は今回初めて 1 位から陥落しています。

本県の長寿陥落の要因として、20歳～64歳までのいわゆる働き盛り世代において、全国より死亡率が高いことが挙げられます。こうした状況を踏まえ、沖縄県では、健康長寿の復活を図るため、健康づくりを行いやすい社会環境の整備、県民の健康意識の醸成、地域や職場における健康づくり推進のための官民一体となった運動の展開などの取り組みをおこなっているところです。

宮古島市においては、平均寿命が男性78.0歳で県内41市町村中最下位、女性が86.2歳で県内41市町村中下から2番目となっております。また、平成25年の特定健診の有所見者（基準値よりも悪い者）割合を県内11市と比較すると、男性は全ての項目でワースト3位に入っております。女性も全ての項目で、県平均よりも高い値となっております。

多良間村においては、平均寿命が男性78.5歳で県内41市町村中32位、女性87.0歳で県内41市町村中27位となっており、県平均を下回っております。

このように、宮古島市民及び多良間村民の健康状況は他市町村民と比べ悪く、特に宮古島市民においては、沖縄県内で最も健康状況が悪いといっても過言ではありません。

宮古島市民及び多良間村民の健康状態の改善には、まず、健康意識の啓発が必要であり、そのためには、宮古地域のマスメディアの皆様のご協力が不可欠です。

つきましては、宮古島市民と多良間村民の健康意識の向上のため、健康づくりに関する放送をよりいっそう取り上げていただきますよう、お願いします。

健康であることは、社会の活力の源であり、生きがいに満ちた豊かな人生を送るためにはなくてはならないものです。

なにとぞ、宮古島市及び多良間村の健康事情をお察しいただき、格別の御高配を賜りますようお願いいたします。